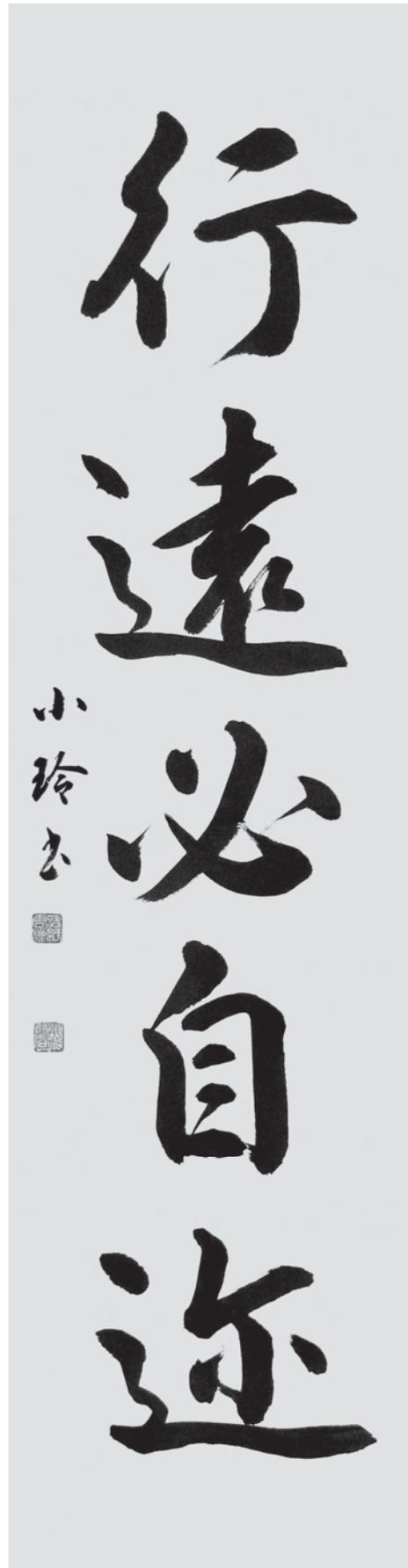


半切四分の一に書く(11)

締切り 十二月二十五日(必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです。その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×一七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕 行遠必自迹

〔大意〕 目標は遠くとも必ず身近なことから始める。

〔出典〕 礼記(中庸)

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤濁も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て、表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部 条幅半切四分の一(約六八cm×一七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フェルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できます。ただし出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位は発表はしません。

一般部規定課題

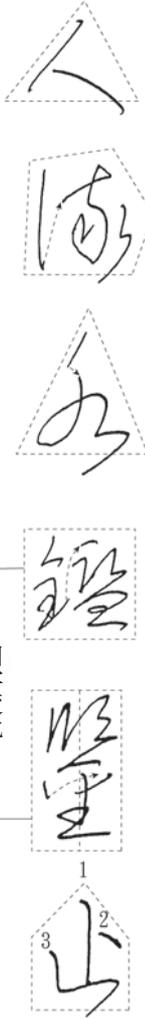
締切り 11月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

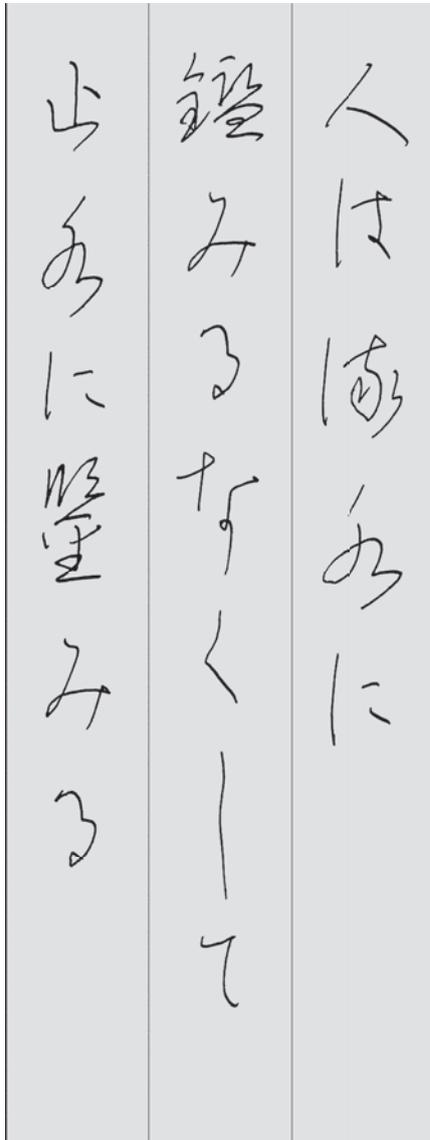
〔解説〕

〔読み〕人は流水に鑑みるなくして止水に鑑みる



◎草書は速書きに最も適した書体で、流麗な趣が最大の特徴ですが、正確に覚えなないと誤読される危険もあります。常日頃から字典を活用し、正しくかつ変化の楽しさを学びましょう。

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

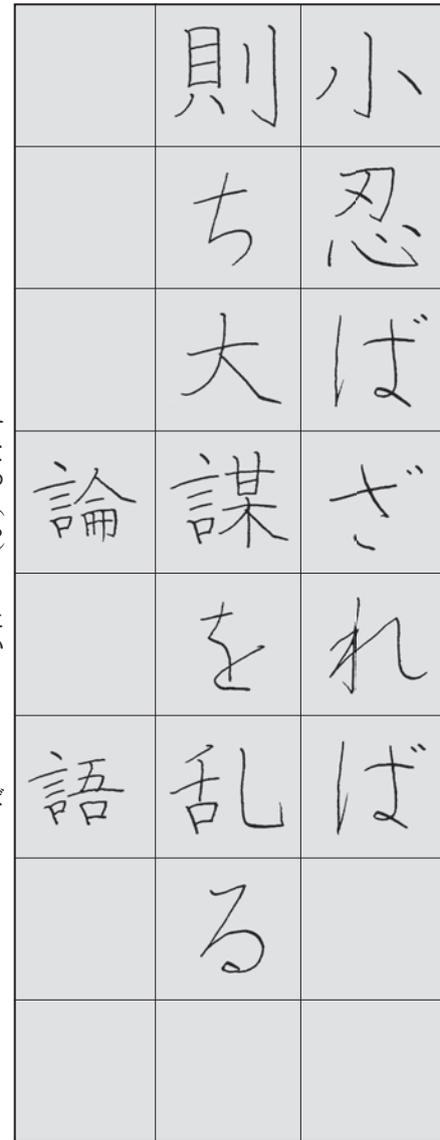


岡田龍芳書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



大谷清城書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼師範||行書

▼教範・書範||行草または草書

新しい挑戦が必要だ

それと同じくらいに

古典を守る事は大切

◆12月課題予告(楷書)

人間も静かな澄みきった心境でいれば、どんな状況でもあわてず誤りのない判断ができるのです。

『莊子』より

中国、戦国時代の思想家の著作

流れる水はいつも揺れているので、人の姿を映し出すことができません。しかし、

静止した水『止水』はいつも澄みきっている、あるがままの姿を映し出します。

人間も静かな澄みきった心境でいれば、どんな状況でもあわてず誤りのない判断ができるのです。

★人は…(書体||行草または草書)

坂本龍馬

事に生を得るは

事を為すに有り

◆12月課題予告(行書)

覚悟が必要です。

大きな目標を達成するためには、小事を

いくつも乗り越えたり、辛抱強く我慢する

です。

仕事を仕損じる、大きな目標の前には、な

らぬ堪忍もしなければならぬということ

です。

孔子とその弟子たちの言行録

『論語』(四書の一つ)より

★小忍ば…(書体||楷書)

一般部かな課題

締切り 11月25日(必着)

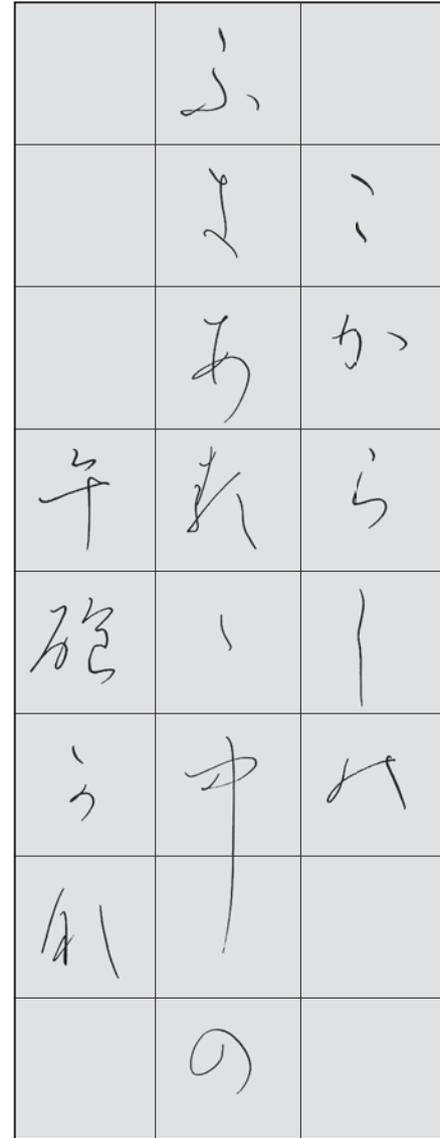
準初段から六段まで

新入から1級まで



糸こ波なみの吹ふきある、中なかの午砲ごほうかな

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



糸こ波なみの吹ふきある、中なかの午砲ごほうかな

大宮春兆書

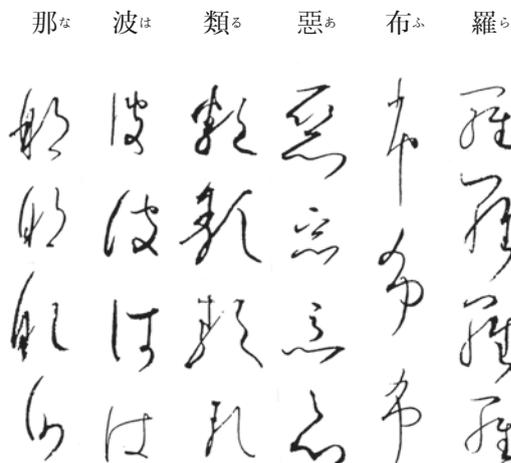
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

大宮春兆書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙



〔古筆参考〕

〔句意〕びゅうびゅうと吹きすさぶ木枯らしの中に、どーんという午砲が鳴り響く。凄まじい自然の猛威の中でも、昼どきを告げる午砲の響きは、なぜか人々をほっとさせ、心をなごませてくれることである。

糸こ波なみの吹ふきある、中なかの午砲ごほうかな
(内藤鳴雪)

◆12月課題予告

北風きたかぜに遊あそびる子こを抱だき去さりぬ

(長谷川かな女)

実 用 文
の ページ

は が き 課 題

お 奥 だ 田 み 三 くも 書

締 切 り 1 1 月 2 5 日 (必 着)

民宿を利用して信州へ来ました。
詩的ながらまつ林を散策しながら
ふと青春時代の思い出に浸ったり、
おいしい川魚や山菜料理に舌鼓を
打ったりして、久しぶりの休暇を
十二分に満喫しています。

民宿を利用して信州へ来ました。
詩的ながらまつ林を散策しながら
ふと青春時代の思い出に浸ったり、
おいしい川魚や山菜料理に舌鼓を
打ったりして、久しぶりの休暇を
十二分に満喫しています。

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 尾 ごう すい こう 書
郷 翠 光

明治4年11月に、日本初の女子
留学生5名がアメリカへ出発した。
福岡県飯塚市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 11月25日(必着)

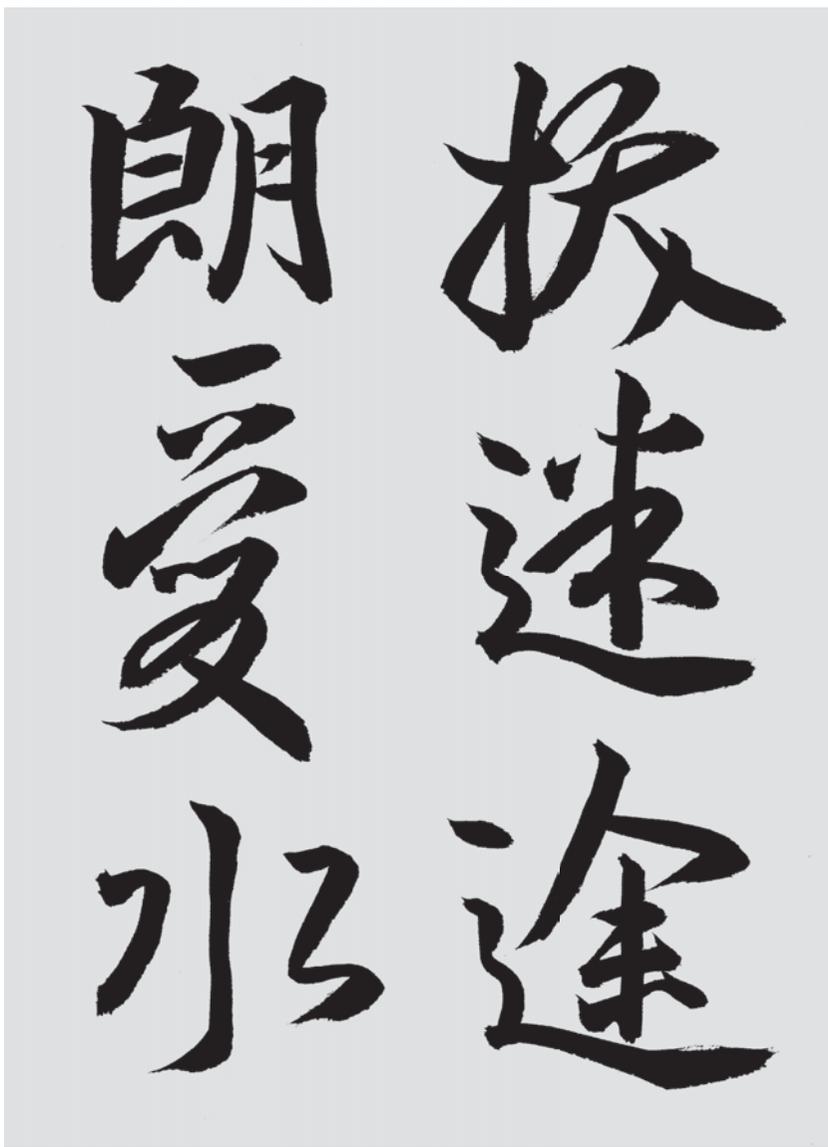
新入から1級まで(楷書)



須田一葉書

〔読み〕くうていらくようおお 空庭落葉多し
〔大意〕 静かな庭一面に落葉が散りしかれている。

準初段から師範まで



奥村暢之臨

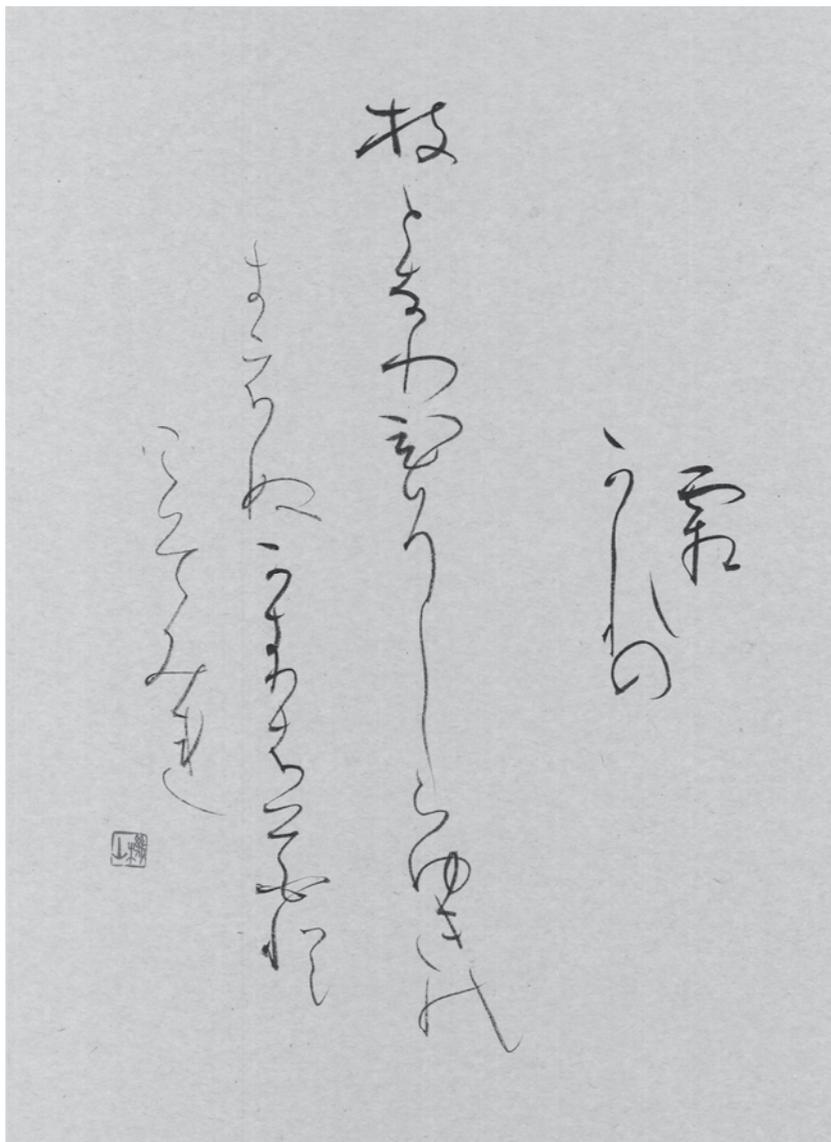
〔出典〕 集字聖教序(672) 〔筆者〕 王羲之書より集字
〔読み〕 めいと 迷途を抜け、こんは 愛水(の昏波を)あきら 朗かにして、



扶
迷
途
朗
愛
水

一般部毛筆かな課題

締切り 11月25日(必着)



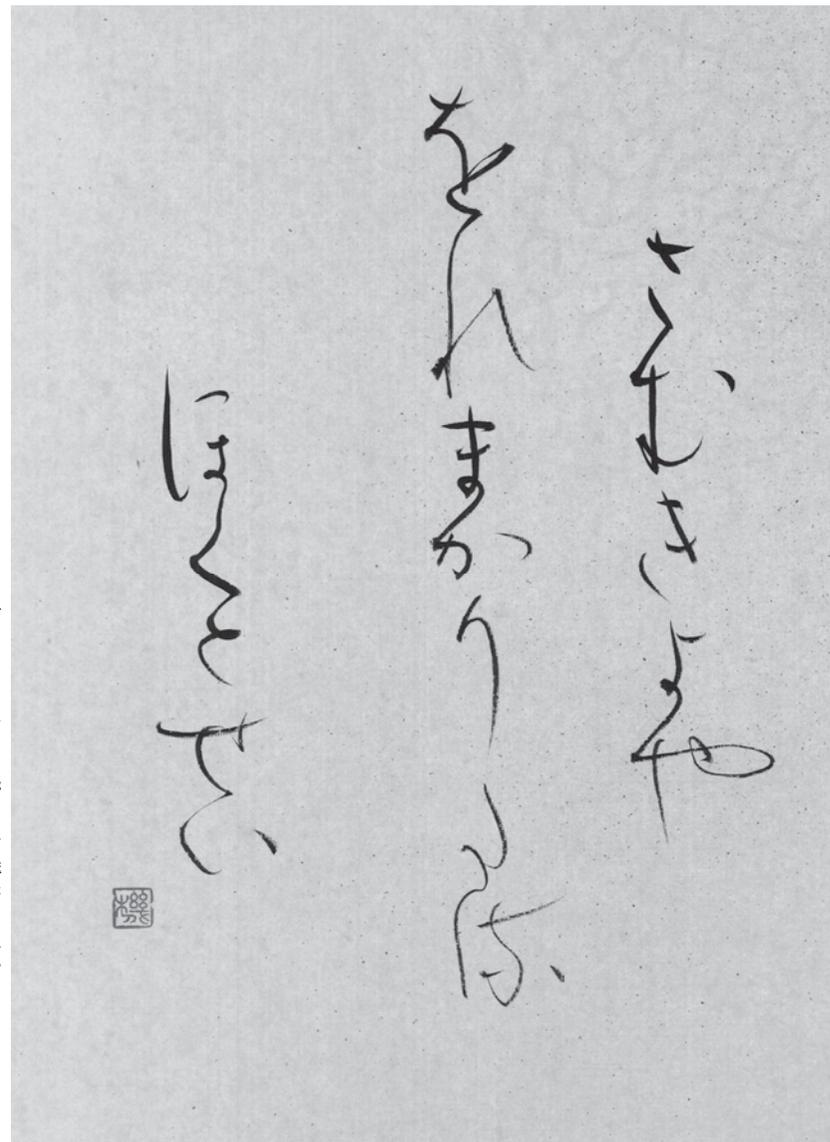
霜がれの枝とな侘びそ白雪の
 見えぬ限りは花とこそ見れ

〔出典〕 後撰和歌集 (詠人しらず)

〔歌意〕 霜に打たれて枯れ枝となってしまったと、落胆するな。白雪が消えない間は、花と思って見ている。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



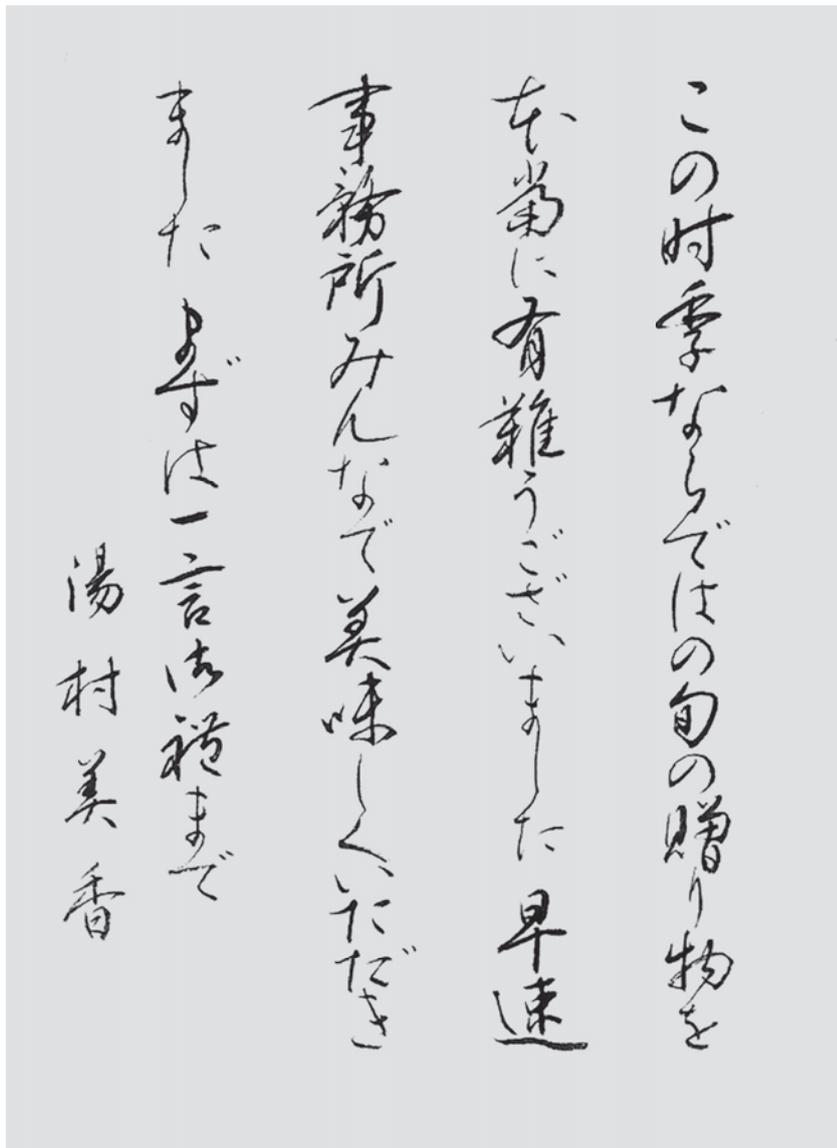
新入から1級まで

浅井機山先生書

〔出典〕 村上鬼城

〔句意〕 寒夜、北の空にあざやかに見える北斗七星。輝く北斗七星の姿に、冬の夜の厳しい寒さがとらえられた句。

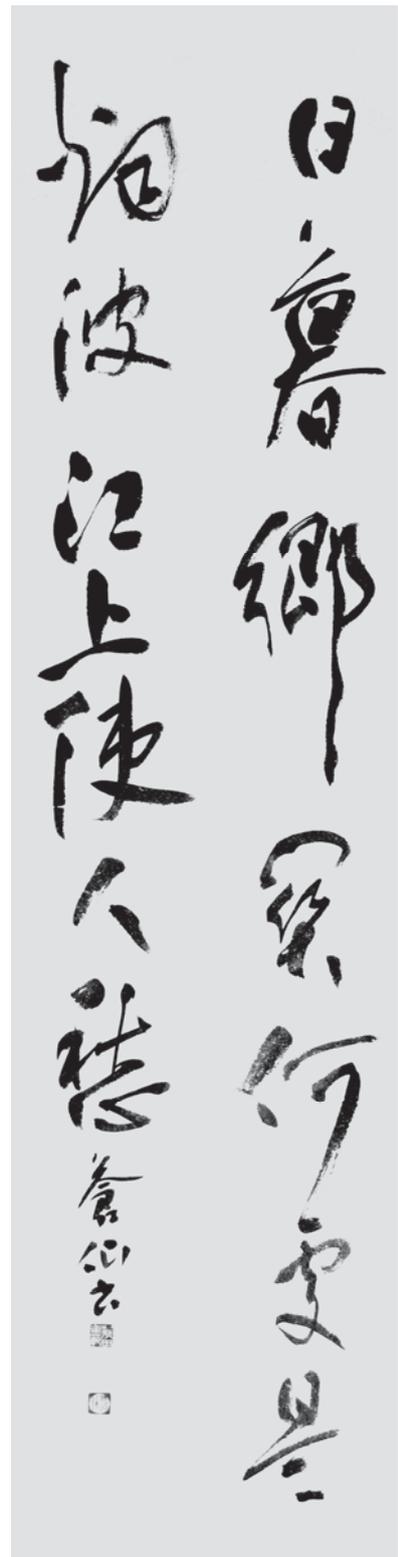
一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋

一般部毛筆条幅課題



締切り 十一月二十五日 (必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

萩 田 蒼 仙 書

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

・印で墨つきしました。

(ご自分の氏名)

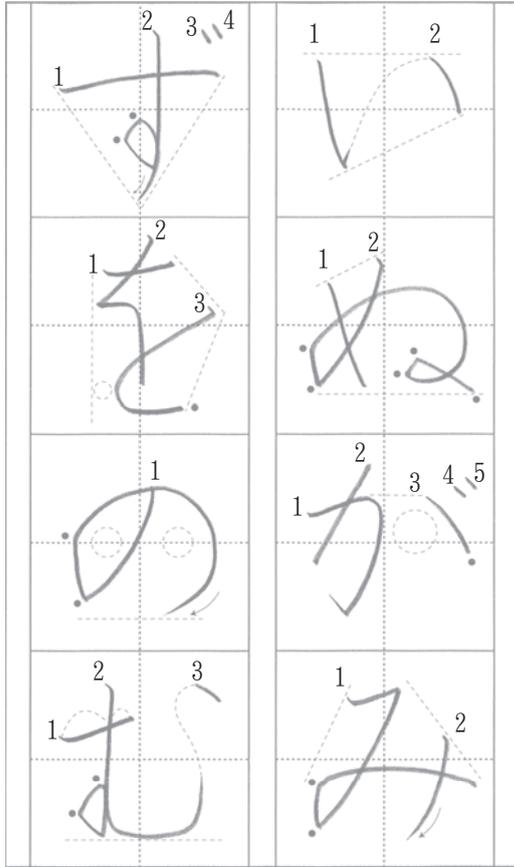
この時季ならではの旬の贈り物を
本当に有難うございました。早速
事務所みんなで美味しくいただきました
ました。まずは一言御礼まで

〔条幅解説〕筆の開閉、捻れ等を意識して書きま
した。それによって自然に肥瘦・疎密・かすれ
が出たようです。筆の運びに関心を持って下さ
い。うまい人の書きぶりを見て学びましょう。

初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

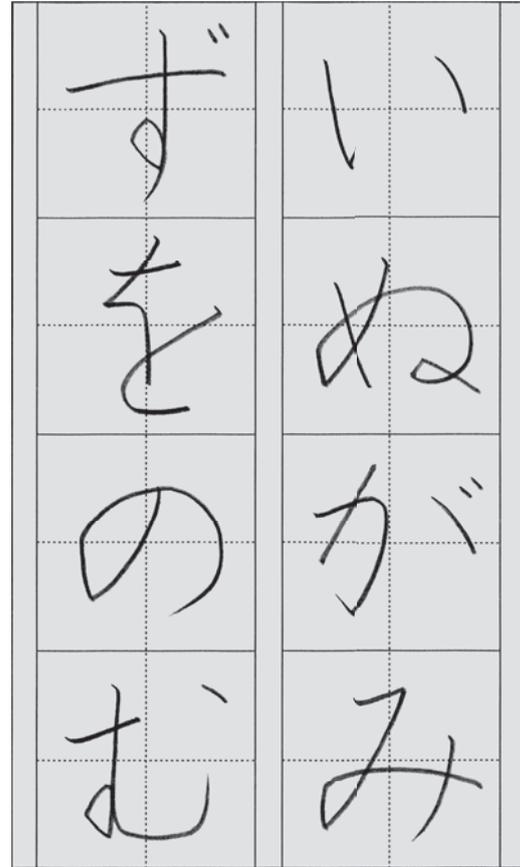
〔日暮郷関何處是 烟波江上使人愁〕
〔大意〕日暮れ時、郷
里はどの方向にあるか
と見渡してみる。夕も
やに包まれた長江の岸
辺にいと何とも悲し
い気分になる。

へようぐく自由(黒色にかざる)



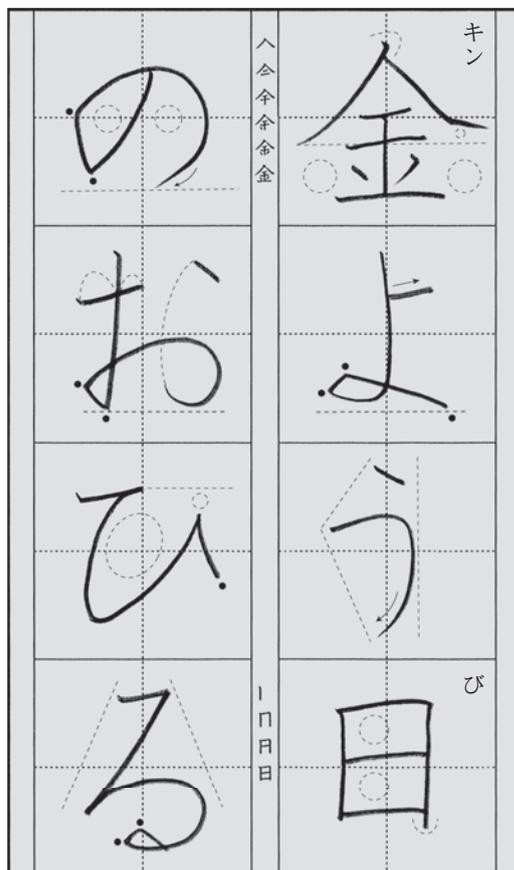
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



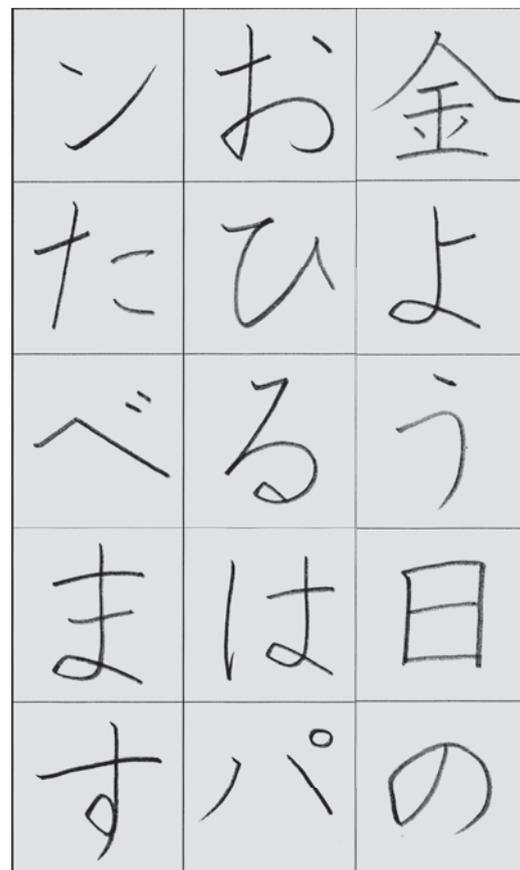
よ
う
年

幼年(小三年まで) 三宅容玉書



新入(1級)

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

自由(黒色にかきえる)

か	一ア五五	五	ゴ
し	一門四円	円	エン
買	か	の	
う		お	

新入1級

か	五	新
し	十	し
を	円	い
買	の	店
う	お	で

小二年

準初段以上

た	お	落	お
き	ち	ち	
火	葉	葉	は
を	で	で	

新入1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

火	ち	父
を	葉	と
し	で	庭
ま	た	の
す	き	落

小三年

準初段以上

〈用具〉自由(黒色に限る)

妹 いもうと 妹	晩 ばん 晩
人 ひと 人	食 シヨツ 食
手 て 手	器 キ 器
伝 つだ(う) 伝	洗 あら(う) 洗

解説(よく見て習いましょう)

※二人||単語としてこのように読みます。

人	い	晩
で	は	の
手	妹	食
伝	と	器
う	二	洗

小六年

(全員)

◎お手本はつけペン使用

公	管	文
演	弦	化
を	楽	会
す	団	館
る	が	で

中二・三年 (楷書)

※紅葉||単語としてこのように読みます。

の	狩	翌
た	り	日
め	は	の
延	雨	紅
期	天	葉

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 しょうむら のり か 庄 村 紀 香 書

電	す	り	お	青
話	ぐ	ん	じ	森
を	に	ご	い	の
し	お	が	ち	
た	れ	と	ゃ	
よ	の	ど	ん	
		き	か	
			ら	



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 11月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 しみず ちせん 清 水 智 泉 書

を	「	文	霜	十
意	霜	字	月	一
味	の	ど	と	月
し	降	お	も	を
ま	る	り	呼	日
す	月		び	本
	月			で
				は



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

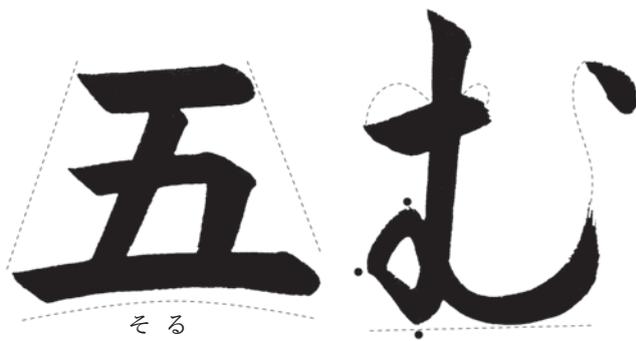
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

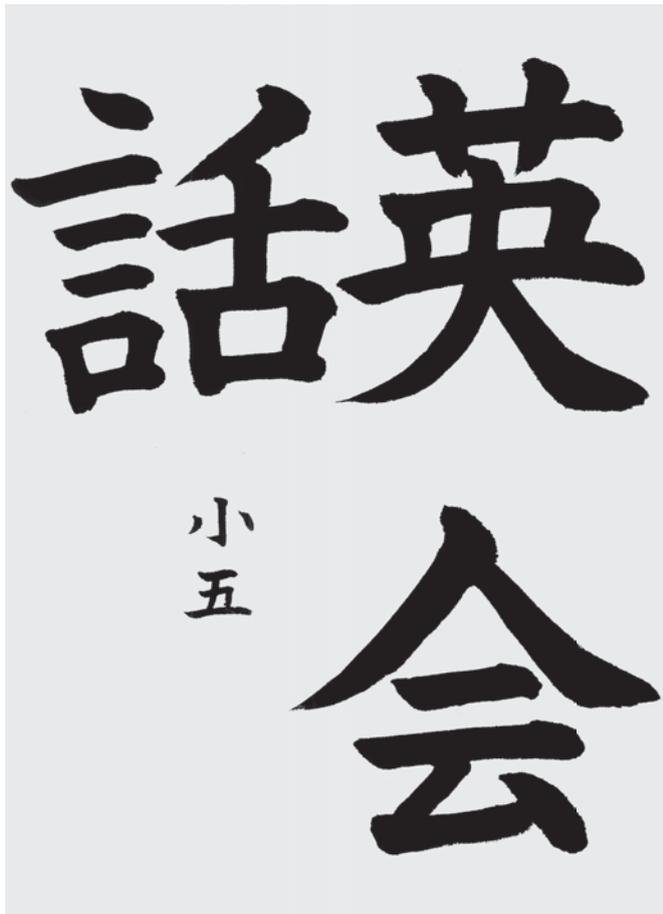




幼年〜小二年

玉たま
樹き
小しょう
華か
書





小三〜小五年
水野の香竹書

中二
三
樂管
團弦

小六
洗食
い器

小六〜中二・三年
奥村暢之書

期器
管洗
弦延

中一
延雨
期天

第107回 硬筆検定試験受験要項

11月25日締切り

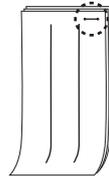
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題(小一から)⑤小論文⑥書歴(初回のみ)。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 平成二十六年十一月二十五日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成二十七年二月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

一般部三段コースまで(規定・かな)	一、〇〇〇円
規定	一、二〇〇円
活字課題	はがき・かな
教育部	一、六〇〇円
	六〇〇円

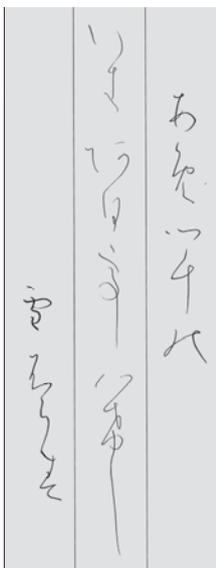
◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題(級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,500
	三段コース	三段まで	下掲課題(段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,000

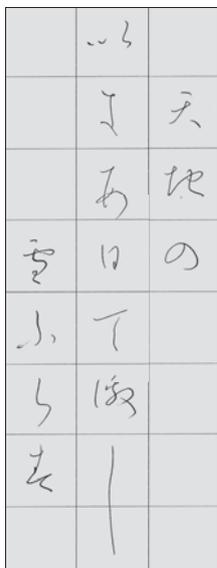
▶かな……大宮春兆書

▶規定……奥村憲照先生書

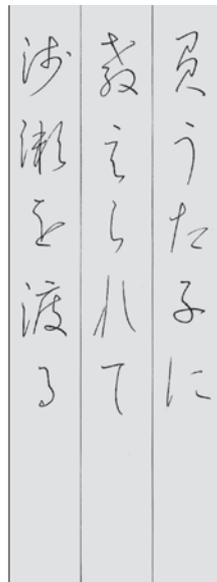
課題(ロ) 段位用紙



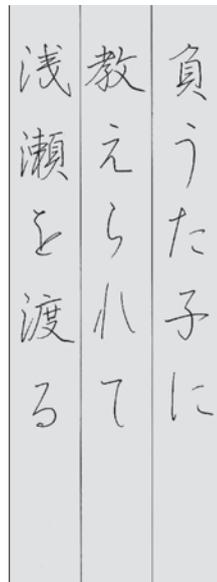
課題(イ) 級位用紙



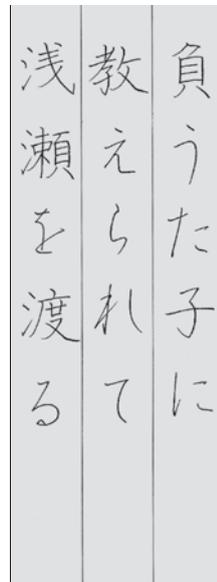
《行草または草書》 段位用紙



《行書》 段位用紙



《楷書》 段位用紙



◎1級コースは級位(マス目)用紙使用のこと。

あめつちの息合ひて激し雪降らす(野沢節子)

◆一般部書範・教範コース ◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

課 題 コース	受 験 資 格	最 高 昇 級 段 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受 験 料
				楷書	行書	草書				
一 般 部 書範コース	・有 段 者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(□)1	1	5	2,800
一 般 部 教範コース	・書 範 ・支局・支部長	教 範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,000
教 育 部 普 通 コ ー ス			11月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由						1	400
教 育 部 会 友 コ ー ス	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生		11月しめきりの月例競書課題と下記活字課題 ※筆記具は自由						2	700

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、す
でに単位を取得されているも、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただ
し、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

■書範・教範コース課題

規定 両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

健全なる制限に

比例して自由は

存在する

■かな

▼書範コース……前頁かな(□)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

秋風あきかぜのふけゆく野辺のべの虫むしの音ねに
はしたなきまで濡ぬる袖そでかな(山家集)

■はがき

最高賞おめでとう。早速市民展の
会場へかけつけて、じっくり拝見
させていただきました。心血を注
がれた作品は、一際光彩を放って
胸に迫ります。奥様もさぞお喜び
でしょう。一筆お祝いまで。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚
用具⇒えんぴつ

小 1
雨の下のり

用具⇒えんぴつ

小 3
都をはなれ
て旅に出た
王子様の話

小 4
強固な意
志を持つ

用具⇒鉛筆以外

中 3
泉水のあ
る庭園を
観賞します

用具⇒鉛筆以外

(注)氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

■小論文課題 教範コースのみ

▼題名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

■会友コース課題

▼十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。
用具⇒自由

行書では気	脈の貫通に	注意しよう
-------	-------	-------

(行書)

第67回 毛筆検定試験受験要項

12月26日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとして下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとして下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 平成二十六年十二月二十日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成二十七年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

一般部1級・三段コース

漢字半紙 …… 一、〇〇〇円
細字・かな …… 一、五〇〇円
漢字半紙 …… 一、二〇〇円
細字半紙 …… 一、〇〇〇円
条幅 …… 三、五〇〇円
細字 …… 一、七〇〇円
教育部 …… 八〇〇円

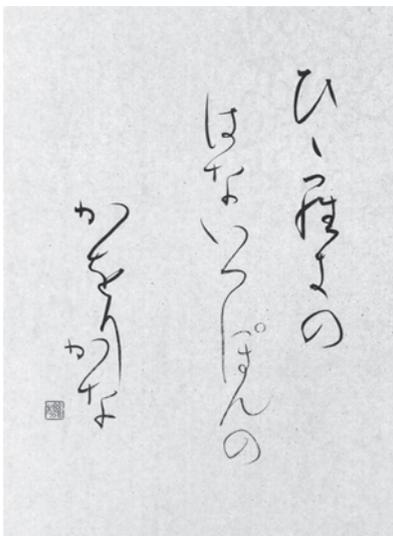
活字課題 五段コース以上
会友コース以上

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,500
	三段コース	三段まで	20ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,000

〔1級コース課題〕

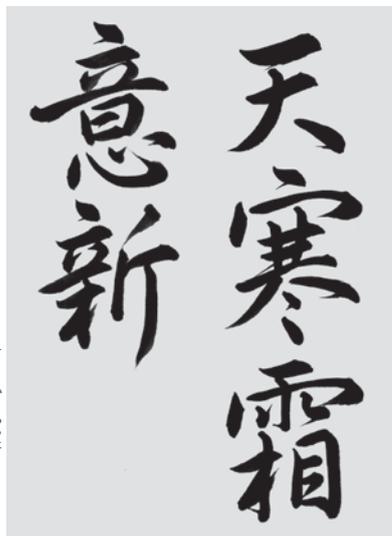
《かな》



ひびきの花の香かな (高野素十)

浅井機山先生書

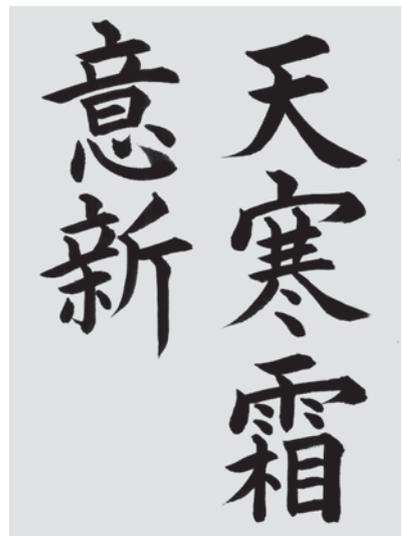
《行書》



天寒く霜意新なり

須田一葉書

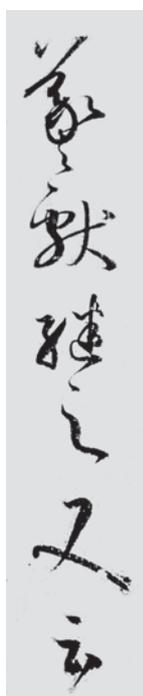
《楷書》



◆一般部五段・書範・教範コース ◆教育部普通・会友コース

コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,500
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,000
	教範コース	書範者 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,000
教育部	普通コース	—	12月しめきりの月例競書課題								1	400	
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)								2	700	

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。



▼書譜

義獻繼之又云



▼集字聖教序

遵之莫知其際



▼孔子廟堂碑

盡性光前絶後

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

漢字

五段コース以上共通(半紙)

五段・書範・教範コース課題

- 五段・書範・教範コース受験のきまり
- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとりの受験有資格者に限りませう。
 - 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得られていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
 - 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎冬ながら空より花の散りくるは
雲のあなたは春にやあるらむ(清原深養父)

※20頁参照

条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

残星数點雁横塞
長笛一聲人倚楼

細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。

講演ご依頼の件承知いたしました
貴重な機会をご提供いただき感謝
いたします 私に務まるかどうか
心許ないのですが頑張ります

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小1 おか
小6 満天の星

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

成績 (行書)

会友コース課題

▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《孔子廟堂碑》

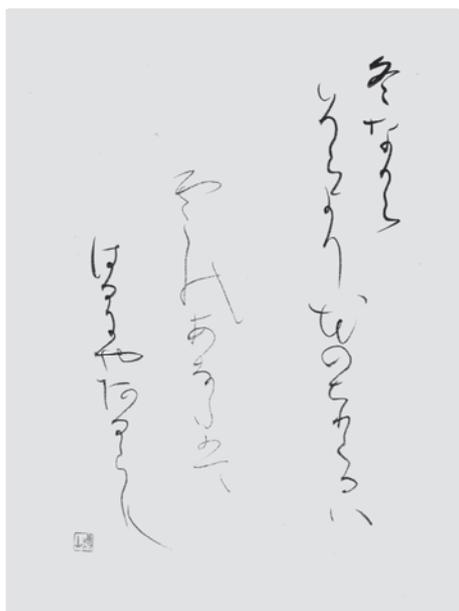
神谷葵水先生臨

垂範百王遺風

垂範百王遺風

《かな》

浅井機山先生書



冬ながら空より花の散りくるは
雲のあなたは春にやあるらむ (清原深養父)

《集字聖教序》

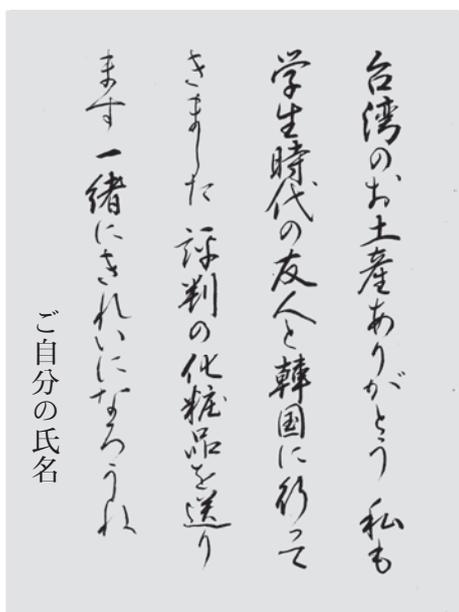
神谷葵水先生臨

長今妙道凝玄

長今妙道凝玄

《細字》

樋田玲華書



※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。

認定証交付について

■昇段・昇級の証明や記念に、段級位認定証を随時交付しております。ご希望の方は、段級位、姓名を明記の上、左記認定料、送料を添えて本部事務局までお申込み下さい。

認定料

◆一般部(硬筆・毛筆とも、一枚につき)

・書範……………一〇、〇〇〇円(二六〇〇円)

・段位……………二、〇〇〇円(二二〇五円)

・級位……………一、〇〇〇円(二二〇五円)

※書範は額入り、他は筒入り。

◆教育部(硬筆・毛筆とも、一枚につき)

・準会友……………一、〇〇〇円(千八二円)

・段位……………五〇〇円(千八二円)

・級位……………三〇〇円(千八二円)

※教育部の認定証は、A4判に変更しました。

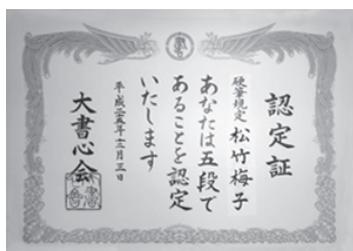
※支部に所属の方は、支部長先生を通じてお申込み下さい。

申込み下さい。

■会友認定料……………二、〇〇〇円

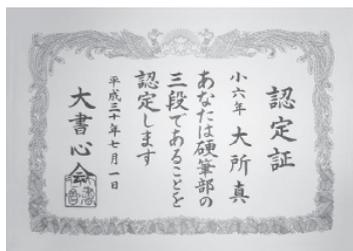
■師範・教範免許料……………三五、〇〇〇円

(いずれも合格時納入)



〔例〕一般部硬筆規定

B4判



〔例〕教育部硬筆

A4判